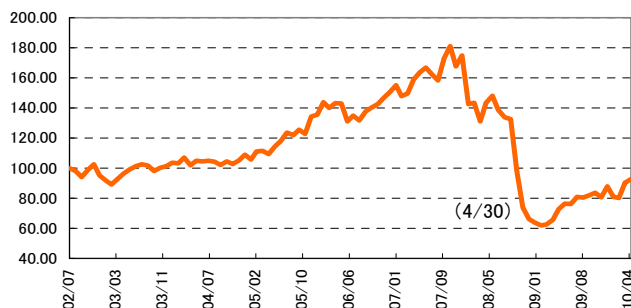


2010年4月末

# グローバル株式型

主に世界各国の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。原則として、為替ヘッジは行いません。  
 MSCI WORLDインデックス(注)を上回る投資成果を目指します。  
 (注) MSCI WORLDインデックスとは、MSCI Inc.が提供する指数で、日本を含む主要各国の株式を包括的に表した指数です。

## ユニット・プライスの推移



ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの収益率

収益率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来
グローバル株式型	2.65%	14.53%	11.06%	27.46%	▲41.69%	▲15.20%	▲7.37%
グローバル株式型 ※保険関係費用 控除前	2.78%	14.92%	11.86%	29.06%	▲36.89%	▲7.19%	5.04%

## 特別勘定資産内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
現金・その他	59	0.5
預金		
投資信託	12,127	99.5
合計	12,186	100.0

# グローバル成長株ファンド

【参考】主な投資対象の投資信託の運用状況(出所:日興アセットマネジメント株式会社)

### <基準価額の騰落率>

	1ヶ月	3ヶ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
グローバル成長株ファンド	2.80%	15.05%	12.01%	29.60%	▲39.03%	1.58%
MSCI ワールドインデックス	1.71%	12.21%	10.21%	31.19%	▲40.17%	2.46%

\*当ファンドの設定日は2001年10月2日です。

### <株式組入上位5ヵ国>

1	アメリカ	51.8%
2	イギリス	10.3%
3	日本	8.8%
4	ドイツ	4.6%
5	香港	4.0%

### <株式組入上位10銘柄(銘柄数79)>

	銘柄	通貨	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカドル	コンピューター	3.2%
2	CISCO SYSTEMS INC	アメリカドル	通信	2.9%
3	ORACLE CORP	アメリカドル	ソフトウェア	2.6%
4	BHP BILLITON PLC	イギリスポンド	鉱業	1.9%
5	SCHLUMBERGER LTD	アメリカドル	石油・ガス サービス	1.7%
6	ILLINOIS TOOL WORKS	アメリカドル	その他製造	1.6%
7	BARRICK GOLD CORPORATION	アメリカドル	鉱業	1.6%
8	INGERSOLL-RAND PLC	アメリカドル	その他製造	1.6%
9	STANDARD CHARTERED PLC	イギリスポンド	銀行	1.5%
10	LOWE'S COS INC	アメリカドル	小売り	1.5%

### <資産構成比>

1	国内株式(先物含む)	8.7%
2	外国株式(先物含む)	89.1%
3	CB	0.0%
4	公社債	0.0%
5	現金その他	2.2%

## <運用コメント>

米国市場は、3月の雇用統計での就業者数の増加を受けた雇用回復期待から、上昇基調で始まりまし。その後も、2010年第1四半期の企業決算の底堅い内容などを好感し、上昇幅を拡大しました。月半ばには、米当局による米証券大手の提訴を受け、一時急落しましたが、下旬に入ると、新築住宅販売の大幅増などを支援材料に反発しました。月末にかけては、南欧諸国の財政不安が一段と強まったことに圧迫され、軟化しました。欧州市場は、ギリシャの資金繰りへの不透明感から軟化する局面もありましたが、堅調な米国市場の動きにつれ、月半ばにかけて底堅く推移しました。しかし下旬に入ると、大手格付け会社による南欧諸国の信用格付けの引き下げなどが嫌気され、急落しました。

このようななか、ボトムアップによる銘柄選択に基づき、金融およびエネルギーセクターの銘柄などを積み増した一方、生活必需品セクターの銘柄などを一部売却しました。金融セクターでは、世界的な大手金融機関を新規購入しました。同社は、米国において魅力的な成長機会を有する投資銀行部門が、引き続き力強い成長の原動力になると見えています。エネルギーセクターでは、石炭・天然ガス生産大手を新規購入しました。同社は、天然ガス部門の成長見通しに魅力があります。生活必需品セクターでは、スイスの食品・飲料大手を、株価が上昇し目標水準に近づいたため、全株売却しました。

4月末現在、ベンチマーク対比でオーバーウェイトとしているセクターは情報技術、一般消費財・サービス、対してアンダーウェイトとしているのは金融、生活必需品、公益事業です。

今後も銘柄選定ならびにセクター選定を重視し、世界のリーディング・カンパニーの経営陣との面談を続け、社内のリサーチ資源を幅広く活用し、徹底的なボトムアップ調査を行なっていきます。世界的な競争力を有し、地域市場におけるリーダー格の、質の高い成長型企業を選別し、投資を行ないます。

当資料に関する「ご注意いただきたい事項ー大切なこと」を5/5ページに掲載していますので必ずご参照ください。

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。